# Muse Spark Openが変える企業知財業務の未来

2026年10月にモデルウェイトが公開された「Muse Spark Open」は、約100万トークンの長文脈処理能力と優れたツール操作性能を備えたオープンウェイトAIです。
企業内の未公開技術情報や社内システムと連携させることで、知財業務の効率化と高度化をもたらします。

## 高い適用効果が期待される主な知財業務




### 発明届提出前の「未公開情報」からの早期発掘

実験記録や失敗報告から論点を自動抽出し、知財担当者の早期間与を実現します。

### 製品開発に連動した継続的なFTO（権利侵害予防）更新

仕様変更に応じた競合特許の対比や設計変更候補の抽出をスムーズに連携します。







### 外部ツール操作評価（MCP-Atlas）で「89.2」を記録

社内DBや特許検索システムと連携したエージェント業務で高い適性を示します。

## 成功に向けた導入・運用戦略





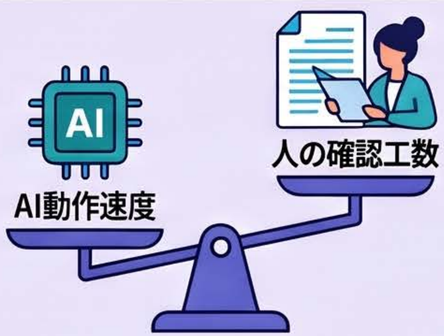


### 差別化の源泉はモデル性能から「社内蓄積データ」へシフト

過去の不採用理由や事業目的と特許の結びつきなど、独自データの整備が差を生みます。

### 「人の確認工数」を含めた総コストで導入効果を検証

単なるAI動作速度ではなく、人が最終成果物を検証・修正する時間を含めて評価します。




Gemini Notebook